

メッセージアウトライン

日付	2016年6月19日
単元	創世記・1
テーマ	結婚
タイトル	ふさわしい助け手
テキスト	創世記2:18～25
参照箇所	創世記1:26～31、2:4～7、Iテモテ2:13、Iコリント7:2～4、11:8～12、エペソ5:22～28
暗唱聖句	創世記2:18

導入	神さまが初めに造ったのは、男の人だけだったんだよ。男の人は赤ちゃんを産めないね……。女の人はどうやって造られたんだろう？
I	<p>神さまは、男の人には助け手が必要だと言われたよ</p> <p>A. 神さまは、アダムを見て、人がひとりであるのはよくないと言われたんだよ</p> <p>B. 人は、ひとりで生きていくことができないんだよ</p> <p>C. 神さまは男の人にふさわしい助け手を造ろうといわれたよ</p>
II	<p>男の人は、動物の中にふさわしい助け手がいるか探してみたよ</p> <p>A. 神さまは男の人に全ての動物に名前をつけさせてみたよ</p> <p>B. それは、動物をよく見て、ふさわしい助け手を選ぶためだよ</p> <p>C. だけど、どんな生き物も、男の人にふさわしい助け手ではなかったよ</p>
III	<p>神さまは男の人にふさわしい結婚相手として女の人を造ったんだよ</p> <p>A. 神さまは男の人のあばら骨から、女の人を造ったんだよ</p> <p>B. 神さまは男の人にふさわしい助け手として女の人を造ったよ</p> <p>C. 男・女の役割や結婚のしくみは、すべてのものを造られた神さまが造ったんだね</p>
結論	神さまは大切な結婚の意味を定められました
適用	例えばメガネの役割は何だろう？ それはメガネを作った人がいちばんよく知ってるね。メガネを作った人は、視力の弱い人の目が良く見えるように助けるために、それを作ったんだよ。男の人の役割も女の人々の役割も、それを作った神さまがいちばんよくご存知だね。それには深い意味や目的があるから、人間が勝手に変えてはいけないね。メガネで歯を磨こうとしてもうまくいかないように、男も女も、神さまが造ってくださった目的のとおり生きるのが、一番幸せなんだよ。
備考	

